

0歳から18歳までの一貫教育のまち 『おおつち一貫教育推進』かわら版 大槌町は、教育を「つなげる」「ひろげる」まちです。



令和5年9月6日(水) No.16
文責
教育委員会学務課 吉田

・読み・書き・LD等に係る研修会より

9月1日に、『けやき共育』事業として、はなみずき特別支援教育研究所の福田理事長をお迎えし、標記研修会が行われ、町内各学園、幼保こども園の先生方19名が参加しました。

冒頭、困り感を持っている児童・生徒の疑似体験をすることで、困り感を持っている児童・生徒は、常にできない嫌な気分やプレッシャー、孤独を感じていることを体感することができました。

福田先生が「簡単ですよ」と話された瞬間、頭の中が真っ白に…。授業中に、「これは簡単だよね!」と何度言ってきたか。苦手な生徒の頭の中が真っ白になっていることに気付かずに…。

きしほはしくよにすさにかづかいにがくだあ
よゆねしえるくぶうなはれめつuitakuをこし
うしつよさまたいすどぜるはしろんてゆえみ
せゆのくしををがこをんじふよはもほうてじ
らのなよにひたちうくしよたくしうそしりか
れよどうくくがかどいなうつなるみいおよ
るうもかちのやらうはくがにどくつひはうか
に わらにしつはんくくわひろせふなから

何が書いてありますか、「簡単ですよね」

○研修会の所感より

- ・ひらがなに困難を抱えている児童がいるので、意図的な指導というものを実践していきたい。
- ・就学前に発達に気になる子への援助やLDのリスクがありそうな子を見つけ、必要な支援が受けられるようにしたり、園と家庭で取り組めることをやっていったりして、安心して就学を迎えられるようにしていきたいです。
- ・ADHD児と定型児の脳の発達過程に違いがあることから、気合と根性でどうにかなるものではないこと、脳の発達から、9歳児くらいが最も差があることなど、2次障害を起こさないように適切な支援・対応が大切であると感じました。
- ・拗音を読めない、書けない子がクラスにいて、日々同指導したらよいのか悩んでいたのが、指導の仕方を学ぶことができて大変勉強になりました。明日からやってみます。

・小中高接続事業より

9月5日(火)大槌高校を会場に、今年度4回目となる互見授業が行われました。今回は1年生の総合的な探求の時間の「ちょこっとマイプロ」の知り組み発表会を参観させていただきました。夏季休業中に1人ひとりが取り組んだプロジェクトを発表するという内容でしたが、テーマもアプローチのバラエティに富み、非常に興味深い発表ばかりでした。8～



9人を1グループにし、発表者が3分程度で発表。その後、グループ内で発表の内容に対する「問い」を伝え合う時間を設定していました。「質問」でも「発問」でもなく「問い」を生み出す。授業の後の協議では、この「問い」を生み出すために必要な力とは何か、を中心に話し合われました。その中で印象的だったのは、「聞く力」の育成でした。興味のない話題でも関心を持って聞くことができなければ疑問も意見も出ない。これまでは、どう興味を持ってもらうかに重点を置いていたけれど、受け止める方の力を育てることも必要なのではないか、という意見も出ました。「主体的・対話的で深い学び」をこれまでも実践してきましたが、改めて本当に「対話」が出来ていたのだろうか、相手の話を自分事として聞ける子どもたちを育てていただろうかと考える機会になりました。そういった意味でも校種を越えて、様々な発達段階の子どもたちを見ることは大きな学びが得られるように思います。大槌町に在任中に、ぜひ互見授業に参加し、校種を越えた「対話」をしていただけたらと思います。

足短く、体肥えて両角を有し、

尾は長くて細い

皮膚に短毛密生

色は白、黒、褐色など

蹄は二つに分かれる

上顎には前歯なく、

草などを喰い、反芻す

行動は鈍いが力強く、

田を耕し車を引くのに使役し、

肉、乳は食用

皮、骨、角なども

種々の用に供せられる

インターネットで調べたら正解が載っていたんだよ。

Sさんは、20分以上かけて解読したそうだけど、5カ所違っていただけ。

